

有機質肥料を使用するコシヒカリの育苗法

1 はじめに

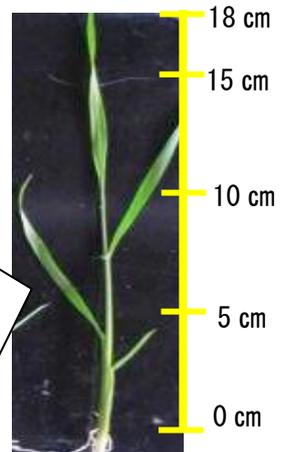
水稲有機栽培には、雑草を抑制するための技術である深水管理に耐えられる中苗や成苗を用いる必要があります。そこで、春先、気温が低い地域や低温年でも十分な草丈が確保できるコシヒカリの健苗育苗法を開発しました。

2 有機栽培での中苗（写真1）育苗のポイント

- ①温湯消毒による種子消毒
- ②薄播き（乾燥粕換算で80g/箱）
- ③加温出芽時にはカビの発生に注意
（加温温度28℃～30℃）
（加温時間48時間程度）
- ④育苗期間は35日程度
- ⑤ハウス内温度管理の徹底（15～20℃）
- ⑥床土には、有機質肥料を窒素分で2.0g程度施用します。

（写真1）理想の中苗

- ①草丈が15cm～18cm
- ②葉齢が3.5～4.0
- ③葉身が厚く、幅が広い
- ④葉色はいきいきとした緑色
- ⑤株元が太くしっかりしている



3 育苗後半でも十分な生育が得られない場合は、有機質液肥の追肥を行います。

育苗期間の低温により十分な生育が得られない場合（写真2：田植え1週間前に草丈10cm以下、葉色3.0以下）、有機質液肥の追肥を行い、苗の成長を促します（表1）。



田植え1週間



田植え時
草丈15cm、葉色4.0

（写真2）追肥が必要なイネ
草丈10cm以下、葉色3.0以下

【有機質液肥の追肥法】

- ・苗箱10箱あたり、300mlを6ℓの水で希釈して散布します。
- ・苗箱1箱あたり、窒素分1.8gの追肥効果があります。

【有機JAS認定を持つ有機質液肥】

- ・エキタン有機（特選エース）
- ・シー・プロテイン

表1 有機質液肥の追肥による苗質、初期生育の改善効果（現地試験結果より）

調査区	草丈 (cm)	葉齢	葉色	苗の乾物重 (mg/本)	窒素含有率 (%)	移植1カ月後の茎数(本/株)
(田植え1週間前調査)						
追肥前	10.1	3.9	3.0	15.0	1.6	-
(田植え日調査)						
追肥なし(対照区)	11.0	4.2	3.0	23.8	1.1	13.2
追肥あり(改善区)	15.7	4.2	4.5	26.4	2.6	15.6

【有機質液肥による追肥の留意点】

- ・肥料ムラがないように、液肥は均等に散布し、施用後は軽く水で流します。
- ・過度な低温の場合、追肥の効果がでないことがあるため、5月中旬以降の移植に適しています。
- ・床土に入っている肥料の量を考慮し、肥料が多めに入っている場合、多肥になりすぎないように、液肥の量を調節します。

（農試 作物部 中村真也）